

各区域における第3回以降の検討結果概要

1. ワークショップの目的

公共交通優先検討区域内の交通に関わる現状、課題、ニーズ等について、区域内の住民の方から詳細な意見や深掘りすべき意見（区域内の組織や取組状況等を含む）をワークショップ形式で把握する。

また、今後の公共交通のあり方について、住民と行政とにおける共通認識の形成や連携体制の構築を目指す。

2. ワークショップの内容

	テーマ	主な内容
第1回	ワークショップの目的と地域の現状を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの目的などを共有 ・情報の共有（考える上で必要な基本的な情報を共有） ・グループワーク <ol style="list-style-type: none"> 1)日頃の外出のこと、外出の時に困っていることを、みんなで見聞を出して共有
第2回	地域の交通のあるべき姿を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク <ol style="list-style-type: none"> 1)この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？ 2)「1)」で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？ ・交通手段の事例紹介
第3回	地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認 ・グループワーク <ol style="list-style-type: none"> 1) それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？
第4回	地域の交通手段を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・地区へのアンケート調査結果の確認 ・この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認 ・グループワーク <ol style="list-style-type: none"> 1) 交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？ 2) この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

3. ワークショップの実施状況

	深沢区域	引田・代継・網代区域		草花折立下区域	東秋川橋西側区域
		網代	引田・淵上・代継		
第1回	平成30年 9月26日(水) 19時～21時 【参加：23人】	平成30年 9月24日(月・祝) 19時～21時 【参加：24人】	平成30年 9月24日(月・祝) 14時～16時 【参加：8人】	平成30年 9月15日(土) 15時～17時 【参加：33人】	平成30年 10月13日(土) 19時～21時 【参加：11人】
第2回	平成30年 10月5日(金) 19時～21時 【参加：22人】	平成30年 10月6日(土) 19時～21時 【参加：17人】	平成30年 10月13日(土) 10時～12時 【参加：11人】	平成30年 10月6日(土) 14時～16時 【参加：22人】	平成30年 11月17日(土) 19時～21時 【参加：9人】
第3回	平成30年 11月13日(火) 19時～21時 【参加：13人】	平成30年 11月23日(火) 19時～21時 【参加：13人】	平成30年 11月23日(火) 14時～16時 【参加：9人】	平成30年 11月4日(日) 14時～16時 【参加：24人】	平成30年 12月15日(土) 19時～21時 【参加：9人】
第4回	平成31年 1月21日(月) 19時～21時 【参加：16人】	平成31年 1月19日(土) 19時～21時 【参加：12人】	平成31年 1月14日(月・祝) 14時～16時 【参加：9人】	平成31年 1月13日(日) 10時～12時 【参加：21人】	平成31年 1月26日(土) 19時～21時 【参加：9人】
会場	深沢会館	網代会館	第1回と第3回は楓ヶ原会館。 第2回と第4回は千代里会館。	折立会館	第1回と第3回は野辺地区会館。 第2回と第4回は地蔵堂。

この地域のくらしの足をどうしたらよいか？ みんなで考えるワークショップ ～各区域における検討結果の概要～

第3回 地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう

テーマ：この地区の交通サービスの方向性（素案）に示した交通サービスには、それぞれどのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

グループワークの内容	深沢区域	引田・代継・網代区域		草花折立下区域	東秋川橋西側区域
		網代	引田・淵上・代継		
この地区の交通サービスの目的	鉄道駅や病院、買物、金融機関、市役所に行く交通を確保する。	主な利用者の方々の足となり、買物や病院に行く交通を確保する。	鉄道駅や病院、買物に行く交通を確保する。	草花団地にも配慮して、鉄道駅や病院、買物への足を確保する。	狭い道幅に配慮して、病院や買物などに行く交通を確保する。
主な利用者の想定	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で車を運転できない方※ ・免許返納をした方 ・来訪者 	<ul style="list-style-type: none"> ・（将来的に）免許返納をした方 ・自分で車を運転できない方※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者 ・自分で車を運転できない方※ ・子ども、女子中高生など 	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納後の高齢の方 ・自分で車を運転できない方※ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で車を運転できない方※ ・（将来）免許返納をした方
導入を検討したい交通サービス	<p>1) 必要な時に利用できるドア to ドアの交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。 <p>2) タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー代を補助する。 <p>3) 必要な時に運行する定路線型の交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まった路線で、必要な時に車両を運行する。 <p>4) 住民主体の交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の自主運行による交通手段を導入する。 	<p>1) タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー代を補助する。 <p>2) 住民主体の交通（近所同士の相乗り）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の自主運行による交通手段を導入する。 <p>3) 定路線型の交通（乗合タクシー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まった路線を運行する。 <p>4) 自転車の共同利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。 <p>5) 大手スーパー等による送迎バスの運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。 <p>6) 企業等送迎バスへの混乗</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ場、霊園バスへの混乗。 	<p>1) 南北方向の交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区と駅を結ぶシャトル便を運行する。 ・地区と駅、病院、スーパー（イオンなど）などを巡る車両を運行する。 ・段丘の定点間を結ぶ車両を運行する。 <p>2) ドア to ドアの交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。 <p>3) 定路線型の交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まった路線と決まったダイヤで小型の車両を運行。 	<p>1) 定期路線運行型交通の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の「のりバス」を走らせる。 ・小型の車両を走らせる。（草花区域の急坂下までも通すため） <p>2) タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー代を補助する。 <p>3) ドア to ドアの交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの相乗り（目的地が同じ人で同乗） ・自家用車の相乗り（目的地が同じ人で同乗） <p>4) 路線バスの利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西東京バス福23系統を草花区域に迂回させる。 ・永田橋付近のバス停を移動させる。 <p>5) 住民主体の交通手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の自主運行による交通手段を導入する。 ・決まった路線と決まったダイヤで運行。 <p>6) 自転車の共同利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最寄りのバス停までの移動に利用 ・駅や病院等への移動にも利用 <p>7) 企業等との連携</p>	<p>1) 地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地蔵堂を拠点とし、ボランティア等による運転（相乗り）をする。 ・移動販売車を呼ぶ、お茶飲み・将棋・困ったことの助け合いの場の提供など、複合的な地域コミュニティサービスを展開する。 <p>2) タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー代を補助する。 ・緊急時にも利用可能なものとする。 <p>3) 定路線型の交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワゴン車等の小型の車両で、決まった路線を運行する。 <p>4) バス停への駐輪場の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスを使いやすくするため、バス停の近くに駐輪場を設置する。 <p>5) ドア to ドアの交通</p>

※「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方、更には家族が車を使っていて出かけられない方や、お酒を飲んだ方など、「たまたま」車がかえれない場合など幅広く含むととらえている。

この地域のくらしの足をどうしたらよいか？ みんなで考えるワークショップ ～各区域における検討結果の概要～

グループワークの内容	深沢区域	引田・代継・網代区域		草花折立下区域	東秋川橋西側区域
		網代	引田・淵上・代継		
交通サービスのメリット（主なもの）	<p>1) 必要な時に利用できるドア to ドアの交通 ・ 会員制にして会費を集めれば、予算も確保しやすい。</p> <p>2) タクシー代の補助 ・ すでにタクシー会社があるので、実現しやすい。 ・ タクシーの利用が増えれば、この地域のタクシーの車両数が増え、より便利になるし、地域も活性化する。</p> <p>3) 必要な時に運行する定路線型の交通 ・ 分かりやすい。 ・ あじさいシーズンの観光客等も使える。</p> <p>4) 住民主体の交通 ・ 自由が利く。 ・ 住民皆、顔見知りなので気楽に、安心して乗れる。</p>	<p>1) タクシー代の補助 ・ 個人に対応しやすい。 ・ 時間の融通や自由が利く。</p> <p>2) 住民主体の交通（近所同士の相乗り） ・ 仕組みを確立すればタクシーより使い易くなる可能性がある。 ・ ドライバーが顔見知りであるがゆえに安全。</p> <p>3) 定路線型の交通（乗合タクシー） ・ 専門の運転手がいるのなら安心して乗れる。 ・ 仕組みを確立すれば利用者が増える可能性がある。</p> <p>4) 自転車の共同利用 ・ 個人で利用しやすい。 ・ 使いたいときに使える。</p> <p>5) 大手スーパー等による送迎バスの運行</p> <p>6) 企業等送迎バスへの混乗 ・ ゴルフ場へ客を降ろした後の空車が活用できる。</p>	<p>1) 南北方向の交通</p> <p>2) ドア to ドアの交通 ・ 周りに気を使わず使い易い。 ・ どこへでも行ける。</p> <p>3) 定路線型の交通 ・ 外出の見通しが立てやすい。 ・ 外出しやすい。</p>	<p>1) 定期路線運行型交通の導入 ・ 現在運行しているから実現しやすい。</p> <p>2) タクシー代の補助 ・ 予算が確保できればすぐに実行できる。</p> <p>3) ドア to ドアの交通 ・ 自家用車の相乗りは、制度として確立できれば、好ましい方法。</p> <p>4) 路線バスの利便性向上 ・ 買物や通院目的で他の自治体へも乗り入れることができる。</p> <p>5) 住民主体の交通手段 ・ 他の地区（上河原地区など）とも連携すれば、ドライバーが確保できるのではないかと。</p> <p>6) 自転車の共同利用</p> <p>7) 企業等との連携 ・ 費用がかからない。</p>	<p>1) 地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス ・ 自家用車を使えば取り組みやすい。 ・ 地蔵堂は自宅から近くて行きやすい。</p> <p>2) タクシー代の補助 ・ 自分の行きたいところに行ける。</p> <p>3) 定路線型の交通 ・ 小さい車を使えば、空車だとしても経済的デメリットが小さい。 ・ 分かりやすい。</p> <p>4) バス停への駐輪場の設置 ・ あれば便利。</p> <p>5) ドア to ドアの交通 ・ 利用したいときに利用できる。</p>
交通サービスのデメリット（主なもの）	<p>1) 必要な時に利用できるドア to ドアの交通 ・ 高齢化が進むため、維持できないのではないかと。 ・ ドライバーのシフト等仕組みづくりが大変。</p> <p>2) タクシー代の補助 ・ タクシーの空きがないと使えない。 ・ 支給基準を設ける必要がある。</p> <p>3) 必要な時に運行する定路線型の交通 ・ 行ける範囲が限定される。 ・ 運行ダイヤ等を決めるのが大変。 ・ 住民が運転するのは難しい。 ・ 利用者数は少ないと思われるため、現実性が低い。 ・ それなりに経費が掛かる。</p> <p>4) 住民主体の交通 ・ 若い人がいないので、ドライバーの確保が最大の課題。 ・ 発起人（リーダー的な人）がいないと始まらない。 ・ 事故があった場合の責任。</p>	<p>1) タクシー代の補助 ・ 使いにくい時間（朝夕など）があるため、仕組みづくりが必要。</p> <p>2) 住民主体の交通（近所同士の相乗り） ・ 利用時間や料金設定の調整が必要。 ・ スケジュール調整が大変。 ・ 費用負担が必要。 ・ 安全、事故対応。</p> <p>3) 定路線型の交通（乗合タクシー） ・ 遠回りになることがある。 ・ 家から乗り場が遠いと大変。</p> <p>4) 自転車の共同利用 ・ 高齢者には不向きであり、乗れる人が限定される。 ・ 充電の管理が発生する。 ・ 使いたいときに使えないことがあり得る。</p> <p>5) 大手スーパー等による送迎バスの運行 ・ 企業側との調整が必要。 ・ スーパー側の規定もある（利用条件など）。</p> <p>6) 企業等送迎バスへの混乗 ・ 路線が決まっており、乗降場、利用時間が限られる。</p>	<p>1) 南北方向の交通 ・ 運行間隔が課題。</p> <p>2) ドア to ドアの交通 ・ タクシー補助については、その基準をどのようにするのか。 ・ 費用がかかるので工夫が必要。</p> <p>3) 定路線型の交通 ・ 一筆書きの路線は利用しづらく、時間の自由度が少ない。 ・ 中高生が定期利用すると、保護者負担が増える。</p>	<p>1) 定期路線運行型交通の導入 ・ 導入までに時間がかかりそうだと。 ・ 道路整備から必要。</p> <p>2) タクシー代の補助 ・ 制度の確立が必要。</p> <p>3) ドア to ドアの交通 ・ 同じ目的地の人を確認するのが難しい。</p> <p>4) 路線バスの利便性向上 ・ 道路の問題もあり、大型車が進入できない。 ・ バス停を移動すると、遠くになってしまう人もいる。</p> <p>5) 住民主体の交通手段 ・ 事故があった場合など、誰が責任を取るのか。 ・ 運転手がいなくて（若い人は日中働きに出ている）。</p> <p>6) 自転車の共同利用 ・ 今後、高齢化が進むと、自転車に乗れなくなる人も多くなるのではないかと。</p> <p>7) 企業等との連携 ・ すぐに変更、中止される可能性がある。</p>	<p>1) 地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス ・ 事故が起きた時の責任をどうするか。 ・ 費用負担の考え方を決める必要がある。 ・ リーダーがいらないといけない。</p> <p>2) タクシー代の補助 ・ 補助にも限度がある。 ・ 誰にどの程度補助するのかを考える必要がある。</p> <p>3) 定路線型の交通 ・ 運行本数が多いと使いにくい。 ・ 行き先が限られる。 ・ 遠回りが発生する可能性がある。</p> <p>4) バス停への駐輪場の設置 ・ 自転車からバスに乗り継ぐ人はあまりいないのではないかと。</p> <p>5) ドア to ドアの交通 ・ 運賃が掛かる。</p>

第4回 地域の交通手段を考えよう

テーマ：交通サービス（候補）に優先順位をつけると、どのようになりますか？また、その交通サービスをこの地区に入れる際に、協力していただけることはありますか？

グループワークの内容	深沢区域	引田・代継・網代区域		草花折立下区域	東秋川橋西側区域
		網代	引田・淵上・代継		
優先順位の高い交通サービスと選んだ理由	<p>1位 タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由が利き外出しやすい。 ・各々目的地が違うので、一番良いなど。 <p>2位 必要なときに利用できるドア to ドアの交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な時にドア to ドアで移動できるからよい。 ・融通が利く。 <p>3位 必要なときに運行する定路線型の交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者がいない時に、無駄に走らない。 ・バスの時間に合わせて個人のスケジュールを立てやすいなど。 	<p>1位 タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな時に利用できる。 ・プロの運転なので安全面で有利など。 <p>2位 定路線型の交通（乗合タクシー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスに近いシステム（時間が決まっている）。 ・バス停の配置の工夫で、ドア to ドアに近づく。 <p>3位 住民主体の交通（ご近所同士の自動車の相乗り）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定年後の人の活躍機会。 ・互いに顔見知りなので安心。 ・ドア to ドアで利用できる。 	<p>1位 地区と駅、病院、スーパー（イオンなど）などを巡る車両</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが行くところに定期的に行くので使いやすい ・高齢者は、駅よりもスーパーなどが重要など。 <p>2位 地区と駅を結ぶシャトル便</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族送迎の代わりになる。 ・通勤（10分間隔必要）など。 <p>3位 地区と駅とをU字型に結ぶ路線を運行する車両</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物等を含めて駅まで行ける。 <p>4位 タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなニーズに対応できるなど。 	<p>1位 るのバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の平等感（ほかの地区にも入っている）。 ・行き先が分かりやすいなど。 <p>2位 草花団地まで通る小型車両</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂の上り下りが大変なので、草花団地まで来てくれるのがうれしい。 ・道幅が狭いので、小型車にした方が効率が良いなど。 <p>3位 タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的地まで直接行ってくれるタクシーを補助してくれるのはうれしい。 ・高齢者への配慮を考えると、るのバス等だけではニーズを満たせないなど。 	<p>1位 定路線型の交通（小型バス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政がやるものとして、定路線型のものは住民が安心して使える。 ・カートだと速度が遅く、エアコンもないなど。 <p>2位 地域の会館の役割を果たしている地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア志願者もいるので、自発的に（市に頼り切りでなく）実施可。 ・地域の問題全般に対応など。 <p>3位 タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定路線との使い分け。 ・帰路の手段として使いたい。
協力していただけること	<p>1位～3位共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に利用。 ・敷地の提供。 <p>1位 タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ使わない（経費減への協力）。 ・相乗りをする。 <p>2位 必要なときに利用できるドア to ドアの交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（住民主体のとき）ドライバーで参加。 ・時間を合わせて利用。 ・補助基準を決める検討に参加。 <p>3位 必要なときに運行する定路線型の交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（住民主体のとき）ドライバーで参加。 ・時間を合わせてできるだけ利用。 	<p>1位 タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極力利用しない（利用が増えると行政負担増）。 ・不要な利用を控える（本当に必要な人が使えるように）。 <p>2位 定路線型の交通（乗合タクシー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転手として参加。 ・スケジュールの調整役。 ・なるべく利用する。 ・LINE グループでの情報交換。 <p>3位 住民主体の交通（ご近所同士の自動車の相乗り）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に利用。 ・バス停用地の提供。 ・車体広告を取って支援。 	<p>1位～3位共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に利用。 ・路線検討に協力。 ・敷地の提供。 ・車両の提供。 ・相乗りに対応。 ・利用者のスケジュール調整。 <p>1位～4位共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR。 	<p>1位～2位共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に利用。 ・ニーズ調査への協力。 ・敷地の提供。 ・安全活動。 ・宣伝。 <p>1位～3位共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・署名活動。 <p>1位 るのバス（上記以外）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家用車利用制限の呼びかけ。 <p>3位 タクシー代の補助（上記以外）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度を減らして経費削減 ・委員会への出席 	<p>1位～3位共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に利用。 <p>1位 定路線型の交通（小型バス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の提供。 ・車両の提供。 ・行政との窓口。 ・運行ルートの検討に参加。 <p>2位 地域の会館の役割を果たしている地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア（運転、電話番など）。 ・車両の提供。 ・仕組みづくり。 ・行政との窓口。

この地域のくらしの足をどうしたらよいか？ みんなで考えるワークショップ ～各区域における検討結果の概要～

(参考) 第1回 ワークショップの目的と地域の現状を知ろう

テーマ：私と交通 ～「日頃、どのような外出をしていますか?」「外出についてどのようなことで困っていますか?」

グループワークの内容	深沢区域	引田・代継・網代区域		草花折立下区域	東秋川橋西側区域
		網代	引田・淵上・代継		
外出の目的と目的地	全体的に「通勤」、「通院」、「買物」が多く、通学や趣味・付き合い・娯楽等について一部の方が指摘。行き先は市内及び近隣市町が大半。	「通勤」、「通院」、「買物」が主な目的で、外出先はいずれも市内各地、近隣市町などが主。	「通勤・会議」、「通院」、「買物」が主な目的で、通勤等においては都心等もあるが、その他は市内各地及び近隣市町などが主。	全体的に「通院」と「買物」が多く、遊び、仕事(会合)、娯楽等について一部の方が指摘。	全体的に「通院」と「買物」目的が多く、外出先についても市内各地及び近隣市町などが主。
交通手段	多くの方が自家用車利用だが、武蔵五日市駅からJRを利用する場合は自家用車又はご家族の送迎。一部でバイク、徒歩、自転車の方もいる。	市内や近隣市町への外出は自家用車利用が大半だが、家族に送迎を頼む人も多い。通勤等では武蔵増戸駅まで徒歩、自転車、家族の送迎などを利用。	市内や近隣市町への外出は、基本的に自家用車を使用。周辺の移動では自転車や徒歩。通勤ではバスの利用もある。	多くの方が自家用車利用だが、ご家族の送迎や、徒歩、自転車の方、また福生駅から鉄道利用の方もいる。	自家用車利用が大半だが、通勤にはJRも利用されている。また、区域内や近隣市町までの移動では自転車が利用されている。
外出で困っていること(主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・車に乗れなくなった時に、交通手段がないため、移動できなくなる。 ・道が狭いため広げてほしい。 ・雪が降ると、降雪や路面凍結により運転できないばかりかタクシーも来ず、移動できなくなる。 ・体調が悪いときなど、自分で運転できないときは、家族がいないと外出できない。 ・夜間は運転が怖いので外出できない。 ・鉄道駅・バス停が遠い。 ・終電で帰った時に駅でタクシーの待機が無い場合があり、不便。 ・来訪者は、車ですれ違える場所がわからず、狭い道を通り込んでくるため、怖い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に車に乗れなくなった時を考えると、バスも何もない(そのため、現状では高齢になっても車に乗り続けるしかない)。 ・鉄道駅やバス停が遠く、電車、バスとも本数が少なく不便。 ・高低差があり、外出が大変。 ・道路が狭い。 ・雪が降ると坂道が凍結するので危険。 ・駅周辺の駐車場を利用すると、駐車料金がばかにならない。 ・タクシーは不便(運賃が高い、呼ぶのに時間がかかる、利用できないことも)。 ・夜は道が暗く、遅い時間は歩いて帰れない。子ども一人では心配。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停が遠い、バスが不便。 ・自家用車以外の交通手段がない。 ・自家用車の運転ができなくなると、外出しなくなる。 ・バスは本数が少ない。 ・タクシーが不便(特に介護タクシーは料金が高い)。 ・武蔵引田駅周辺は、駐車スペースが少ない。 ・南北方向の交通手段がない。 ・南北方向の坂が大変(特に北行き)で、雪の日などは坂が上がりず広い道まで出られない。 ・普段ほとんどバスに乗らないため、バスがどこまで行っているかも知らない。 ・自分で運転できない人は、生協やスーパーの宅配サービスを活用している。 ・るのバスは乗ったことがなく、滅多に見ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停が遠い・バスが不便。 ・免許を返納すると交通手段が無くなるため不安。 ・坂が多く、徒歩や自転車での移動が困難。 ・行きは家族に送迎を頼めても、帰路まで頼むのは気兼ねするため、結局自力で戻らざるを得ない。 ・送迎を友人に頼むのは気兼ねする。 ・市内の移動では、るのバスも使うが、行きはタイヤに合わせられても、帰りに都合の良い便があるとは限らないため、徒歩等になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道が狭く、歩行者が危険、自動車のすれ違いや自転車の追い抜きもできない、救急車が通れないときもあるなど問題が多い。 ・抜け道として使っている車がスピードを出して危険。 ・車がないとどこへも行けない。 ・大雪の時は除雪されない。 ・免許を返納すると交通手段がなくなる。 ・歩道がない、狭い。 ・どこへ行くにも坂を上がらなければならない。 ・バス停が遠い。 ・バスは帰りの時間が合わず、帰ってこれなくなる。 ・バスは乗らないから、乗り方が分からない。 ・電車は本数が少なく、拝島で乗換えも必要で不便。 ・雨が降ると自転車が使えない。

(参考) 第2回 地域の交通のあるべき姿を考えよう

テーマ：これからもこの地区で住み続けるためにこの地区の公共交通に必要と思う機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

グループワークの内容	深沢区域	引田・代継・網代区域		草花折立下区域	東秋川橋西側区域
		網代	引田・淵上・代継		
地域の交通のあるべき姿（特に重要だと思ふもの）	<p>○いつでも利用できるドア to ドアの交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な時に乗れる交通。 安価なタクシー。 自宅から目的地まで行ける交通。 タクシー券（自由な時間に利用できる）。 <p>○病院や駅までや、買物用に運行してくれる交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院まで行く交通。 武蔵五日市駅や、できれば秋川駅まで行く交通。 食べ物がないと生きていけない。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 積雪時の交通の確保。 運転出来なくなった時のための交通。 住民主体の交通（市から自治会へのワンボックスカー貸与）。 安価（300円/回程度）。 小型のバス。 必要な運行頻度を満たす。 	<p>○利用したいときに利用できる。タクシー割引</p> <ul style="list-style-type: none"> タクシー利用補助（利用券）の配布。 <p>○近所同士による相乗り、乗合タクシー</p> <ul style="list-style-type: none"> 出来れば市から自治会へ車両を貸与。 行政と地域で費用分担（タクシーは高額になる）。 利用したいときに利用できるようにある程度の台数を確保。 <p>○自治会への電動自転車貸与</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政が自治会へ電動自転車を貸与し、自治会会員で相互利用する。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 行き先：武蔵増戸駅 手段：小型バス 大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。 	<p>○高齢者に優しい交通（＝誰もが使いやすい交通）</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の行動範囲を拡大するための足の確保。 運転できない人も利用できる交通。 ドア to ドアの交通。 公立阿伎留医療センターなど通院で利用できる。 <p>○南北方向の交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 段丘の定点間の短時間運行。 駅まで（特に朝夕）のアクセス。 JR駅まで行くバス（自宅から200m程度で乗れる）。 駅、病院、イオンなどへの定時運行。 市内の病院、スーパーなど巡回。 <p>○安い料金</p> <ul style="list-style-type: none"> タクシーより安く。 ワンコイン程度。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期運行/デマンド運行の併用。 るのバスを使いやすくする。 小型車の運行（軽自動車、ミニバンなど裏通りを走れる交通）。 運行頻度は午前・午後の2回、1日に4～5便（＝8～10往復）など。 バスがスムーズに走れるような道路整備。 人が集まるようにするための学校、病院、会社、ショッピングモールなどの地域開発。 	<p>○るのバスを通す</p> <ul style="list-style-type: none"> るのバスを小型化し、区内を3つに区分して運行するとともに、急坂下（草花団地内など）まで通してほしい。 福生駅までの循環バス。 <p>○タクシー代の補助、乗合タクシーの運行</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院に行くときに利用するタクシー料金の割引。 るのバス運行までのタクシー代補助。 草花団地内などはタクシー型を走らせる。 自宅から目的地まで行けるようにする。 <p>○駅、病院等への足の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 福生などの鉄道駅や病院への足を確保する。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バスの利便性向上（ルート変更、バス停の移動等）。 隣接市町、企業等との連携。 折立地区専用車の導入。 市営自転車の整備。 	<p>○週1日程度、複数便運行する交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 通院、1週間に1回位で良いので何便か欲しい。 週1回でも良いから1日に何便も。 <p>○地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 地蔵堂を拠点とし、ボランティア等による運転（相乗り）をする。 移動販売車を呼ぶ、お茶飲み、将棋、困ったことの助け合いなど、複合的な地域コミュニティサービスを展開する。 <p>○タクシー代の補助</p> <ul style="list-style-type: none"> 通院等、タクシー代の補助。 ドア to ドアの交通確保。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 車いすでも利用できる交通。 緊急時にも対応できる交通。 バス停への駐輪場の設置。 将来の安心確保。 ワゴン車等の小型のるのバスを東秋川橋西側区域に入れる。